

Q. 生涯学習のまちづくり計画の刷新を A. 生涯学習推進本部で 基本構想・計画を決定している



水野晃 議員



はつらつとグラウンドゴルフを楽しむ

Q 「豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画」は平成22年3月に今後10年間を見通して策定された。進捗状況、評価体制、問題点は。

A 教育部長
毎年、実施事業の確認を行っており、年度末毎に生涯学習課で検証している。

審議会を経て、策定段階では生涯学習推進調整会議に図り、生涯学習推

進本部で最終の基本構想・計画を決定している。

Q 利用しやすい学習情報の提供は。

A 教育部長
活動の実態の検証、実績報告は生涯学習課で集約している。ボランティアは活動分野別で、34分野79名の登録がある。ボランティアの人数は概ね満たされていると考える。募集を継続していく。

Q 指導者バンクの整備は。

A 教育部長
指導者の募集は生涯学習情報誌などで広く人材を募集している。指導者の要請マニュアルはなく、研修会は実施していない。

Q 情報の収集と窓口の一本化は。

A 教育部長
情報の相談、対応体制は整っている。行政システムの整備はまだ取り組

んでいる。

Q 長寿社会における生涯学習の在り方が不十分である。学ぶ幸せ※「幸齢社会」の生涯学習の役割は。

A 教育部長
学びの場から生まれる仲間のネットワークを通

じて、地域での高齢者の見守りも期待できる。不十分である「長寿社会の生涯学習」については、生涯学習課が中心となり、基本計画の中に取り組んでいく。

※幸齢社会とは
人生100年いっしょになっても学ぶ幸せな社会のこと